

「この街」のために。「あなた」のために。

そっこう<sup>®</sup>

S O U K O U

社会医療法人 壮幸会

行田総合病院

TEL : 048-552-1111

2018年9月号(月10) 発行：社会医療法人 壮幸会 行田総合病院



巻頭特集：二次検診を受けましょう！  
特集：当院で受けられる健診・検診

9月

2018 / vol.043

# 二次検診を受けましょう！

当院でも各診療科で対応しています。

健康診断とは、身体が健康なのかそれとも『病気の危険因子』があるのかを確認するためのもので、『特定の病気を発見するものではありません。』

もし、健康診断で精密検査・再検査の必要があると判断された方は、二次検診を受けましょう。二次検診を受けることによって、『特定の病気の早期発見と治療につなげることが出来ます。』

当院では、胃がん検診や大腸がん検診、前立腺がん検診、人間ドック、脳ドックなど、各種健康診断の結果に応じた診療科の専門医と放射線読影医、病理診断医による二次検診を受けることができます。

他の医療機関で健康診断を受診された方も健診結果をご用意の上、ご相談ください。

二次検診ご相談窓口⇓地域医療連携室  
TEL 048-504-2537

## 健康診断 二次検診 ▶ 心臓の検査⇨循環器内科

### ●心電図異常の検査

健康診断で実施される心電図検査で『脈（リズム）異常』や『血流異常』を指摘された場合には、二次検診で精密検査をすることをすすめます。脈（リズム）異常の場合は、心房細動などの不整脈がないか精密検査を実施していきます。

当院では、ホルター心電図検査装置を24時間装着していただき日常生活の中で心臓に異常が出ていないかを調べます。血流異常では、運動負荷心電図検査（運動時に生じる変化を診る検査）や心臓超音波検査を実施していきます。それぞれの検査で所見があり、診断を確定していく場合には、更に心臓力テール検査（写真）を行います。

当院は循環器内科医師3名体制（1名は10月より入職予定）で検査・治療を行っています。カテーテル治療に難渋した場合には、手術治療を大病院へ依頼できる連携体制も整っています。



## 健康診断 二次検診 ▶ 前立腺がん検診⇨泌尿器科

### ●PSA検査

前立腺がん検診は、PSAという前立腺特異抗原を調べる血液検査で行われています。前立腺特異抗原は前立腺から分泌されるPSAタンパクという物質が血中にだけ存在するかを測定します。通常、PSAは血中にほとんど存在しないため、健康診断にて陽性と判定された場合は、泌尿器科での二次検診を受診しましょう。

泌尿器科医師は、超音波検査や直腸診を行った上で、直接前立腺の組織を採取し、病理検査による診断確定を行います。当院では、泌尿器科医師5名と病理診断医による体制で検査から診断、手術療法や化学療法で治療を行います。

手術療法では先進医療機器である『ダ・ヴィンチ』によるロボット支援手術（写真）も導入しており、身体に負担の少ない治療を選択できる体制が整っています。



## 健康診断 二次検診 ▶ 胃がん検診⇨消化器内科

### ●胃内視鏡検査（胃カメラ）

胃がん検診は、胃X線検査やペプシノゲン検査という血液検査などで行われています。当院での二次検診は、消化器内科が対応しています。健康診断の結果から医師の診察を受診していただき、その後、必要に応じて内視鏡検査を実施いたします。

当院では、内視鏡専門医師が月々土曜まで毎日検査を行っており、内視鏡により健康診断で指摘された箇所を詳しく検査します。異常を認められた場合には、組織を採取し、病理診断医が細胞レベルで検査します。

万が一、病理検査によって胃がんが判明した場合でも早期であれば内視鏡での治療が可能です。

また、それよりも進行了した胃がんであっても消化器外科と連携し、手術療法または化学療法を実施できる体制が整っています。



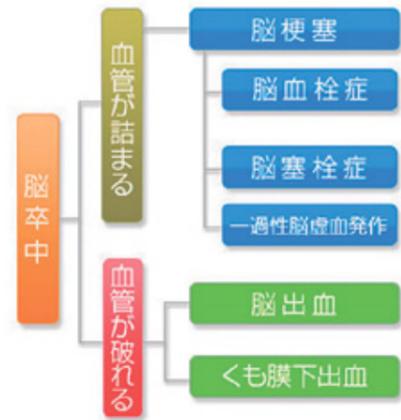
## 健康診断 二次検診 ▶ 脳神経の検査⇨脳神経外科

### ●脳ドック

脳ドックは、脳MRI、脳MRA、頸部MRA、頸動脈超音波検査、血液検査などが行われます。これらの検査では脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、頸動脈狭窄など）を早期発見すること、それらの危険因子を早期発見することを目的としています。

健康診断で異常を指摘された箇所を前出の検査によってさらに精密に調べ、現在3名体制で診療を行っている脳神経外科医が血圧、心電図、血液検査などの結果を交えて総合的に診断します。

治療が必要となった場合には、最新の血管撮影装置などを使用し、狭くなっている血管を拡張する治療や脳腫瘍に対する手術治療にも対応しています。治療後の社会復帰に向けては、リハビリテーションを専門に実施する回復期リハビリテーション病棟も併設しています。



## 健康診断 二次検診 ▶ 大腸がん検診⇨消化器内科

### ●大腸内視鏡検査（大腸カメラ）

大腸がん検診は、便に含まれる血液を調べる便潜血検査で行われています。こちらも消化器内科で二次検診に対応しています。

便潜血検査で陽性となり、大腸がんを診断される確率は3%程度あります。そのため、大腸内視鏡での二次検診を実施することは大切であり、早期がんであれば内視鏡での治療が可能です。進行状況によっては、上記胃がん同様、病理診断科・消化器外科と連携して治療にあたります。



## 当院で受けられる健診・検診

ご予約は⇒⇒⇒行田総合病院医事課健診担当 TEL.048-554-0005

種類	対象者	検査目的・内容	金額
一般健診	16歳以上	雇入時の健康診断（検査内容はお問合せください） 定期健康診断（検査内容はお問合せください）	15,833円 19,840円
企業健診	対象企業にお勤めの方	企業の希望に沿って検査項目を設定させていただきます。ご相談ください。	検査内容により異なります。
行田市 行田市在住の方に限ります	特定健診	行田市国民健康保険に加入中で40～74歳までの方	生活習慣病の発症を未然に防ぐために、メタボリックシンドロームに着目した健診（身長・体重・腹囲・血圧・血液・尿検査等） 500円 ※年度70歳以上無料
	後期高齢者健診	75歳以上の後期高齢者医療保険に加入の方	自分の健康状態を知り、病気の早期発見を目的とした健診（身長・体重・血圧・血液・尿検査等） 無料
	肝炎ウイルス	40歳以上の方で過去にこの検査を受けたことがない方	血液検査（B型・C型肝炎ウイルス検査） 500円
	ヤング健診	15～39歳の方。左記以外の年齢で生活保護受給中の方	身長・体重・血圧・血液・尿検査等 1,000円
	乳がん	40歳以上の女性で昨年度市の検診を受けていない方 行田市からクーポン券が届いた方	乳房レントゲン検査（マンモグラフィ） 800円
	大腸がん	40歳以上の方	検便（潜血）検査（⇒p2に関連記事） ※事前に検査容器が渡されます。 500円 ※年度70歳以上無料
	前立腺がん	50歳以上の男性	血液検査（PSA検査）（⇒p3に関連記事） 500円 ※年度70歳以上無料
胃内視鏡検診	40歳以上の方	胃カメラによる胃の検査（⇒p2に関連記事） 3,000円	
社会保険特定健診	社会保険に加入中のご家族（被扶養者）の方	生活習慣病の発症を未然に防ぐために、メタボリックシンドロームに着目した健診（身長・体重・腹囲・血圧・血液・尿検査等）	保険組合の種類によって異なります。
協会けんぽ生活習慣病予防健診	協会けんぽ加入中のご本人	身長・体重・血圧・血液・尿・便・心電図・胸部・胃部レントゲン検査等	7,038円
がんリスクスクリーニングAICS（男性5種）	40～90歳の男性	血液検査（胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん）	25,920円
がんリスクスクリーニングAICS（女性6種）	25～80歳の女性	血液検査（胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮・卵巣がん）	25,920円
脳梗塞・心筋梗塞リスクスクリーニングLOX-index検査	40歳以上	将来の脳梗塞・心筋梗塞が心配な方 血液検査（脳梗塞・心筋梗塞）	12,960円
MCIスクリーニング検査	50歳以上	血液検査（軽度認知障害）	21,600円

## 人間ドック・脳ドック

種類	対象者	検査目的・内容	金額
当院設定	人間ドック	検査内容を充実させ、人間ドックを半日で受けられます。忙しくて時間が取れないという方でも受検しやすくなっています。内科診察、身体測定、眼科検査、循環器、呼吸器、消化器、尿一般、血液一般、肝機能（胆・膵）、血中脂質、糖尿病、腎機能、血清、血液型、感染症等。	47,000円
	脳ドック	脳卒中（脳出血・脳梗塞・くも膜下出血）の予防につながります。脳ドック単独検査（頭部MRI、頭部・頸部MRA）。	26,000円
	併診ドック	人間ドックと脳ドックを同時に検査します。	72,000円
行田市 行田市在住の方に限ります	人間ドック	行田市国民健康保険に4か月以上加入中の方で35歳以上、国民健康保険税を完納している方	11,960円
	脳ドック（⇒p3に関連記事）	行田市指定の検査項目となります。	6,000円
	併診ドック	人間ドックと脳ドックを合わせたものになります。	27,170円

※各健診・ドックには、ご希望に応じて各種検査（前立腺がん検査、胃内視鏡、リスクスクリーニングなど）を追加することが可能です。お申込みの際にお申し出ください。

## 主な血液成分の見方

健康診断の血液検査結果。血液成分は大抵欧文で表記されています。ここではそれらがどのような血液成分なのかを解説。血液検査の結果と合わせてご覧ください。

行田総合病院検査科

項目	成分名	解説
TP	総蛋白	栄養状態や肝・腎機能をみます。低栄養などで低値となります。
Alb	アルブミン	栄養状態や肝障害の程度をみます。
BUN	尿素窒素	腎機能の指標に用います。腎機能の低下により高値となります。
CRE	クレアチニン	
Na	ナトリウム	体内電解質浸透圧（水に溶けて電気を通すミネラルのイオン。体内の水分量や水素イオン濃度を一定に保ち、神経の伝達や心臓、筋肉を動かすことなどに深く関わっています）をみます。水分摂取障害などでNa・Clが高値になります。
K	カリウム	
Cl	クロール	
T-Bill	総ビリルビン	黄疸、肝機能、胆道系の指標。胆石などでも高値になります。
D-Bill	直接ビリルビン	
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	肝機能の指標。肝・心・筋の疾患により高値となります。
ALT	アラニアミノトランスフェラーゼ	
LD	乳酸脱水酵素	肝機能の指標。血液疾患などでも高値になります。
ALP	アルカリホスファターゼ	肝機能の指標。胆道系疾患（胆汁の停滞）により高値になります。アルコールの摂取量によっても高値になります。
γ-GTP	γグルタミルトランスペプチダーゼ	
CK	クレアチンキナーゼ	骨格筋・心筋・平滑筋の損傷により高値になります。
S-AMY	血清アミラーゼ	膵臓や唾液腺の疾患によって高値になります。
UA	尿酸	主に痛風で高値になります。腎障害がある場合も高値になります。
Ch-E	コリンエステラーゼ	肝機能の指標。
T-Cho	総コレステロール	血管や細胞膜を作る成分。過剰にあると血管に沈着し動脈硬化などの原因になります。
HDL-Cho	高比重リポたんぱく質	溜まったLDL-Choを取り除くので「善玉コレステロール」と呼ばれています。
LDL-Cho	低比重リポたんぱく質	血管壁に溜まり、動脈硬化などを起こすので「悪玉コレステロール」と呼ばれています。
TG	中性脂肪	高値だと動脈硬化や脂肪肝の原因になります。食後は高値となるため、採血は空腹時に行いましょう。
LAP	ロイシンアミノペプチターゼ	肝機能、胆道系の指標。
GLU	血糖	糖尿病などで高値、低血糖では低値になります。
HbA1c	ヘモグロビンエーワンシー	過去1～2カ月間の血糖コントロールの指標。糖尿病である可能性があるかどうかを判別する数値です。
Ca	カルシウム	骨代謝などをみます。
IP	無機リン	
CRP 定量	C反応性蛋白	体内で炎症が起きている時に高値になります。
Fe	鉄	鉄は赤血球を作る元素です。貧血の指標になります。鉄は血液を運ぶ蛋白質にくっついて身体の中を巡りますが、UIBCはくっついてない部分です。TIBCは鉄の血中総運搬能です。トランスフェリンという蛋白質と鉄の結合しうる能力（鉄+UIBC）をいいます。
UIBC	不飽和鉄結合能	
TIBC	総鉄結合能	
WBC	白血球数	炎症、感染症などにより高値になります。血液の疾患などにより低値にもなります。
RBC	赤血球	主に貧血の指標。貧血などにより低値になります。多血症で高値になります。
Hb	ヘモグロビン	
Ht	ハマトクリット	
PLT	血小板数	一部の貧血、肝疾患、血液疾患などで低値になります。血液を固めるのに必要です。
RDW SD	赤血球粒度分布幅	赤血球粒度分布幅と呼ばれ輸血時や赤血球大小不同症、奇形赤血球を認める時に高値になります。
RDW CV		

ドクターやナース、コメディカルの日常、大げさにいえば人生観まで。  
好評につき、毎号連載中！

ロボット支援手術 100 症例記念 Special Award  
泌尿器科



2018年7月24日(火)

地域の泌尿器科として、次は 300 症例を目標に。

2017年5月から前立腺全摘出術と腎部分摘出術の適用に「内視鏡手術支援ロボット ダ・ヴィンチ (da Vinci Si)」を導入し運用してきました。おかげさまで、本年7月にはダ・ヴィンチによる泌尿器科悪性腫瘍手術 100 症例を達成しました。ご紹介いただきました地域の先生方に改めて御礼申し上げます。近い未来、300 症例達成時には記念講演の開催を企画しています。

遭遇勉強会  
新南棟 4F 会議室



2018年7月9・30日(月)

接遇委員会主催による

全職員対象勉強会が2日間に渡って開催されました。テーマは、イライラや怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニング「アンガーマネジメント」。日常業務に役立つ勉強会となりました。

BLS / AED 講習会  
新南棟 4F 会議室



2018年7月28日(土)・8月1日(水)

240名の職員が受講。

急変時に適切・確実な方法でBLS/AEDが実施できるように、全職員が共通のプロトコルで標準的技術と知識を学ぶ講習会が当院主催で行われました。赤十字救急法指導員である尾島看護副部長とリハ科寒河江副室長がインストラクターを務め、救急外来看護師がサポート。受講者には講習修了証が配布されました。

第2回 北埼玉腹腔鏡手術懇話会  
新南棟 4F 会議室



■講演  
①当院救急総合診療科・瀧田医師 (写真左)  
②熊谷総合病院外科・平山医師  
③深谷赤十字病院外科・新田医師  
④埼玉慈恵病院外科・飯野医師  
座長：当院外科副部長・坂野医師 (写真右)

2018年7月26日(木)

北埼玉エリアの腹腔鏡手術のスキルアップのために。

当院をはじめ、熊谷総合病院、深谷赤十字病院、埼玉慈恵病院から消化器外科医師が集まり、自施設にて行われた腹腔鏡下手術症例を持ち寄って発表。参加された多くの医療従事者によって多角的な視点から活発な意見交換が行われました。当院からは消化器外科の全医師をはじめ、消化器内科医師、手術室看護師・病棟看護師等が参加。他の医療機関からも消化器外科の医師、手術室看護師など35名が参加されました。

ご挨拶を兼ね、現在に至るまでの生い立ちを含め、自己紹介をさせていただきます。

病院職員の皆様はじめ、患者様、各関係者の皆様、2018年度より消化器内科医として赴任して参りました上岡直史と申します。よろしくお願ひ致します。赴任して間もないですが、コラムの執筆依頼を頂きましたので、ご挨拶を兼ね、現在に至るまでの生い立ちを含め、自己紹介をさせていただきます。

栃木県佐野市に、男3人兄弟の2番目として生まれました。2番目といいましても、一卵性双生児であり実質、兄と双子の弟2人といった構成です。佐野市は行田市と県は異なりますが、車で1時間弱と比較的近い場所に位置しております。これをご覧になっている方も佐野プレミアムアウトレットへ足を運んだ事のある方は多いのではないのでしょうか。私が小さい頃は駅も小さく田舎町でしたが、2003年にアウトレットが開業し、今や週末にはたくさんの人が訪れ賑わいます。その他には関東の三大師として、年末にはCM放送もされる佐野厄除け大師があります。大晦日、初詣には遠方よりたくさんの人が訪れ、こちらは大変賑わいます。そして、もう1つはラーメンです。青竹打ちのちぢれ麺とあっさりしたスープで有名な佐野ラーメンがあります。

さて、私の生い立ちに戻りますと、上記のような佐野市で小中と地元の公立学校に通学し、平凡な学生生活を送ってまいりました。先にあげた双子の弟は県内で比較的有名な進学校に進学しましたが、私はそのまま地元の佐野の高校に進学しました。双子の弟は早くから都内の有名大学進学を目標としていたのですが、私には敷居が高く、その様な考えには至りませんでした。しかし、比較的勉強には力を入れていたため、高校3年生の夏頃に、今までそれなりに勉強してきたのに、大学進学で妥協しては意味が無いと思うようになり、弟の影響もあり、同じ大学を志望しました。その頃から本格的に受験勉強を始めたのですが、準備不足もあってか、人生そんなに甘くなく、大学受験に失敗してしまいました。その時双子の弟は同大学へ合格、非常に辛く悔しい思いを経験しました。あまりにも悔しかったため、その後は食事と睡眠以外はほぼ受験勉強をするといったような生活を送り、自分を極限まで追い込み辛い1年を過ごしました。そんな生活が実ってか、無事大学合格を果たしました。

初めての東京での生活は佐野市の生活とは異なり、新しい経験ばかりで大学生活はとても楽しいものでした。私は大学では農学部に進学しました。同部会のほぼ100%が大学院へ進学する環境であったためその頃は将来の事など何も考えず、もちろん就職活動もせず、どうせ大学院へ進学すると考え、バイトやサークル活動など日々大学生活を楽しんでいるだけでした。そうこうしている大学4年生の夏、双子の弟から就職先が決まったと連絡を受けました。兼ねてから行きたいと聞いていた大手のIT系の会社でした。何とも恥ずかしい限りですが、その時初めて自分の進路について真剣に考えるようになりました。高校生の時もそうですが、大学生になっても双子の弟に影響されていたわけです。その時、過去に一度も考えた事もなかった、医師という職業を考えるようになりました。親族の中に唯一母親の叔父が医師をしていたとのこともあり、時折話を聞く機会がありましたが、特殊で難しく多忙な職業というイメージであり、自分がそのような職業をやっているのかという思いもありましたが、同時に人生一度きりであり、チャレンジするにはとてもやりがいのある目標であると思うようになりました。そう考え始め、医師について調べれば調べるほど、日に日に医師になりたいと思うようになりました。もちろんそのためには医学部に行かなくてはなりません。その頃は学士編入という、大学卒業後に医学部の途中から編入するような制度もありましたが、編入試験で何れもしている大学の先輩を知っていたため、とても狭き門であると思い、急がば回れと、高校生に戻ったように、大学受験の勉強を始めました。一度経験した大学受験であったこと、浪人の時に死にもの狂いで勉強した経験のおかげで、ブランクはありましたが、大学卒業とともに、無事に東京医科歯科大学医学部に合格する事ができました。引き続き2度目の大学生活に入った訳ですが、生活費や学費を賄うため1日に家庭教師のアルバイトをいくつも掛け持ちなどし、生計を立てておりました。その他、試験勉強、部活、サークル活動など忙しく充実した日々を送ってまいりました。その後は順調に進学、卒業し2011年春、ぎりぎり20代である29歳の時に無事医師になる事ができました。卒業時には消化器内科へ進む事をほぼ決めておりました。理由は、広い臓器に渡る事と内視鏡に興味があったためです。そのため、研修医でも積極的に内視鏡検査に関われる青森県の病院を研修先を選びました。人より遅くして経験した社会人生活でしたが、忙しくも日々様々な知識や技術を身に付ける事で充実感をおぼえ、辛いと感じる事は一度もなく、人生の生きがいを見つけたと感じました。その後地元の佐野厚生総合病院というところで5年間内科・消化器内科として勤務し、内視鏡治療も多く経験させて頂き、消化器病学会の専門医を取得しました。消化器内科医としてのさらなるスキルアップを図りたいと考え、地元から離れた内視鏡医として最も技術を要すると考えられる早期がんに対する内視鏡治療であるESDの件数が多い当院へ転職する事を決めました。まだ赴任してわずかですが、当院の指導医の先生方は知識も技術も素晴らしく、日々勉強になり、自分の成長を実感でき、また内視鏡室のスタッフも明るく優しい方ばかりで、楽しく充実した毎日を送っております。まだまだ未熟者ではございますが、消化器内科医としてのさらなる知識、技術を身に付け、また可能な限り地域医療に貢献できるよう、指導医の先生方の背中を追い、少しでも近づけるよう努力しながら、毎日精進して参りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



消化器内科  
上岡直史

笑顔が素敵な消化器内科のPRINCE。  
優しく丁寧な診療が好評です。

# ADVERTISING

院内・院外からの広告を受付けております。



【illustration】足がだるい重い.biz

## ●『下肢の血管専門外来』／血管外科からのお知らせ ところで、『足のむくみ』が気になっていませんか？

一過性ではなく数日間『足のむくみ』が続くような場合には病気の可能性があります。

- 足がだるい
- 足の血管がポコポコと浮き出ている
- 夕方になると足がむくむ
- 夜間に足がつりやすい

このような症状を少しでも感じたら受付窓口にご相談ください。

血管外科医による診察を行っております。

【行田総合病院『下肢の血管専門外来』／血管外科】

## ●行田総合病院／手術室からのお知らせ 手術室拡張。全5室になりました！

新しい手術室は、7月31日から稼働しています。これまで4室だった手術室が5室になり、資材置場も拡大（写真は新しく完成した手術室）。各科による日々の手術症例が増えることはもちろん、緊急手術にも余裕を持って対応できる環境となりました。

【行田総合病院／手術室】



## ●新人看護師がんばってます①

### ふれあい看護体験／点滴業務・静脈留置針穿刺、輸液・シリンジポンプの使い方研修



#### ●ふれあい看護体験。5名の高校生が参加

看護師を目指す高校生が病棟で車椅子の操作や乗降、血圧測定、点滴や輸液ポンプの操作、ストレッチャー移送同行などを体験。看護師との交流タイムでは様々な質疑応答が行われました。



#### ●点滴業務・静脈留置針穿刺、輸液・シリンジポンプの使い方研修

点滴薬の種類によっては、微量の輸液を正確に落とす必要があります。そういう時は、輸液ポンプやシリンジポンプと呼ばれる機械を使用します。7月から約2週間かけて、注射・点滴の研修を開催してきましたが、今回はそれらの機械と腕部模型を使ってのまとめ研修です。模型には疑似血流があり、針の刺し方、点滴の固定の仕方やテープの貼り方を学びます。患者さまに実施する際も『焦らず、でも緊張感を持って臨むこと』を常に心がけるよう、指導しています。

【行田総合病院／看護部】